

組織機構改革の概要について

組織機構改革の目的

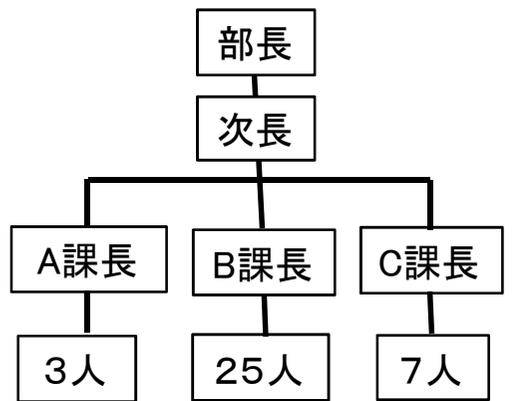
人事・給与構造改革の一環として、仕事量に応じて組織を割る、つまり、人数によって組織を再編するもの

組織機構改革の内容

- 管理職等の職務の平準化を図り、釣り鐘型組織からピラミッド型組織を目指すため、現行の「課」の再編
- 今までの「課」のユニットが大きく変わることから、職員の意識改革も含め、基礎的な組織である「課」の名称を「室」に変更
- 業務上関連が深い複数の「室」をとりまとめる必要がある場合には、「室」の上に「課」を設置

現在の組織イメージ

業務の性質・内容によって課を構成

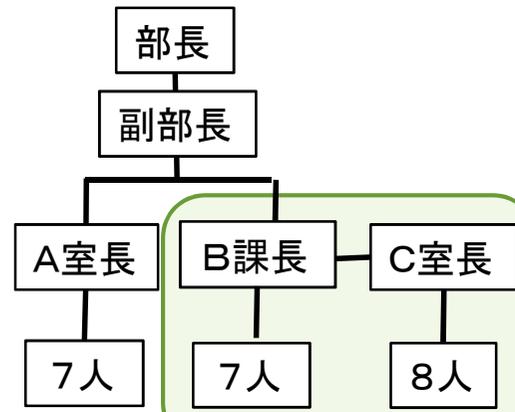


職員数の規模が課によってバラツキが大きい。(3人程度～25人程度)

- ・管理職の人事管理、業務管理に差
- ・課長が担当者の業務を行っていることも

改革後の組織イメージ

業務量によって組織を再編(室の人数は原則8～12人)



業務上の繋がりが深く、「室」で分けることが適当でない場合は「課」を設置

「課」や「室」の下にグループを設置(各グループは3～5人)

課及び室	グループ	職員数
A室		1人
	※※グループ	3人
	■■グループ	4人
B課		1人
	○○グループ	3人
	××グループ	4人
C室		1人
	△△グループ	4人
	□□グループ	4人